

Press Release

2021年12月24日

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(tel 0798-45-3533)

武庫川女子大学生活美学研究所 シンポジウム「危機における暮らしと情報」を開催 西宮市の危機管理担当者も登壇します

武庫川女子大学生活美学研究所第31回シンポジウム「『危機における暮らしと情報』緊急時における情報の『顔』を生活者の視点から考える」を2022年1月14日（金）、武庫川女子大学中央キャンパス公江記念館で開催します。

災害等の危機に際して、地方自治体をはじめ企業や大学には、いかなる状況でも業務を継続し、人々の暮らしを支える社会的責任が求められます。このシンポジウムでは、情報を「顔」ととらえ、緊急時に刻々と変わる「顔」をどのようにとらえ、どのように伝えるかを、報道する側とされる側、受け止める側という3つの視点から考えます。危機管理や災害報道に詳しい専門家2名とともに、西宮市の危機管理の担当者も登壇。阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験も交え、現場の声を交えて討論します。

講師

長瀬貫隆氏（DRI ジャパン理事長 元日本IBM 理事）

近藤誠司氏（関西大学准教授 元NHK ディレクター）

指定発言者

谷口博章氏（西宮市政策局市長室長）

山本和男氏（西宮市総務局危機管理室長）

コーディネーター

大森いさみ氏（生活美学研究所研究員・情報メディア学科教授）

日時 2022年1月14日(金) 14:00～18:00 (受付開始 13:30)

場所 武庫川女子大学中央キャンパス公江記念館

14:00 開会

14:10 講演「危機広報：危機管理の視点からの情報管理と情報発信」(長瀬氏)

15:15 講演「メディアと災害情報：巨大災害に立ち向かうために」(近藤氏)

16:30 総合討論「災害・緊急時における情報管理と情報発信：自治体の現場の視点から」

会場での聴講 (定員 100 人)

およびオンライン会議システム zoom を用いたウェビナー (定員 1000 人)

いずれも無料

申し込みフォーム <https://forms.gle/4aUmTQa6jME5YMmZ9>

締切 2022年1月6日

この件についてのお問い合わせは

武庫川女子大学生生活美学研究所

メール：seibiken@mukogawa-u.ac.jp

または

武庫川女子大学広報室 (0798-45-3533) までお願いします